

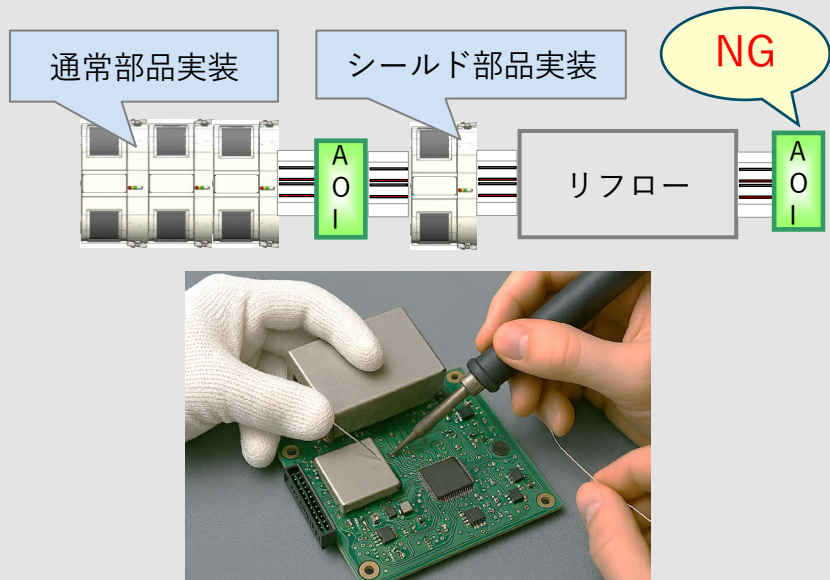
装着済位置認識オプション

シールドケースの実装不良、基板修理時間の削減をしたい！

お困りごと

■シールドケース部品実装の修理には・・・

- ①修理に時間が掛かる
- ②難易度が高く、修理技術が必要
- ③基板修理による破損リスク、廃棄ロスが発生

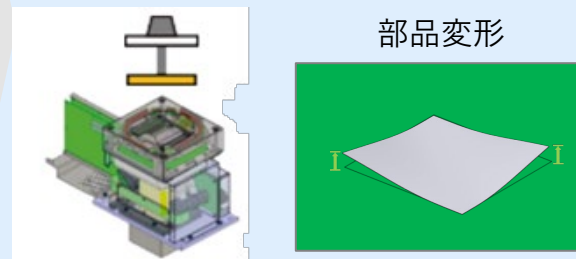


ライセンス導入後の効果

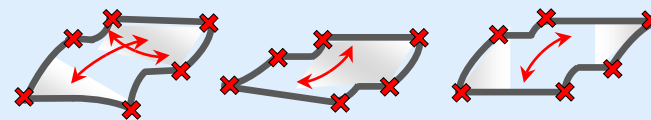
■シールドケースの反り検査、ずれ検査をAOIで検査を行う前に実装機で実施し、シールドケースの実装不良抑制と、リペア時間を削減します

シールドケース装着前反り検査

部品認識カメラでシールドケースを実装前に検査し、部品変形を判定

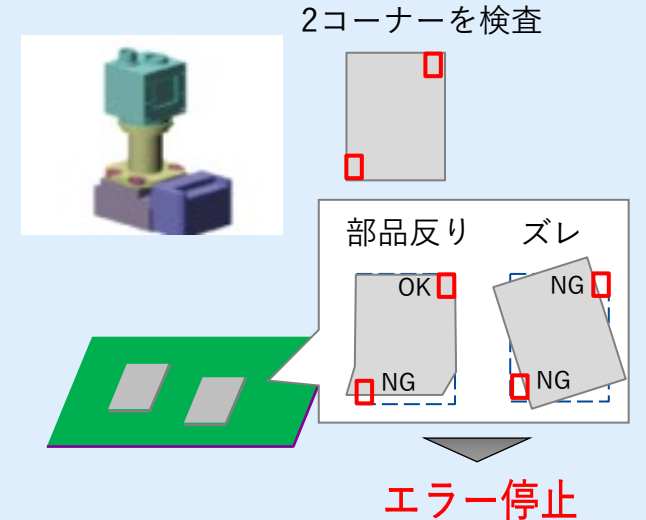


認識エラー判定で不良検知



装着済位置認識

ヘッドカメラで検査し、シールド部品の反りとズレを判定



エラー停止

装着済位置認識オプション

シールドケースの実装不良、基板修理時間の削減をしたい！

■ご使用上の注意点

1. 基板サイズ・部品高さに制限あり
* 詳細は取扱説明書をご参照ください
2. シールドケース装着前反り検査を実施する場合、
マルチ認識カメラType3が必要です

■対象モデル

NPMシリーズ
NPM - Xシリーズ
NPM - Gシリーズ

■制約事項

NPMシリーズ：V10.10.37以降
NPM - Xシリーズ：V02.12.16以降
NPM - Gシリーズ：V04.20.00以降

* 詳細はお問い合わせください